

回覧

大空は
明日へつづく

みんなの学校

出演：大空小学校のみんな

監督：真鍋俊永　ナレーション：豊田康雄　企画：道川綠　プロデューサー：中尾雅彦 加藤康治 業井孝之
撮影：大窪秋弘　撮影助手：堀貴人　編集：北山晃　編集協力：桑岳志　整音：中鳴泰成　音響効果：萩原隆之　題字：谷篤史
製作：関西テレビ放送　配給：東風

2014年｜日本｜106分｜BD・DCP｜ドキュメンタリー　©関西テレビ放送

minna-movie.com

平成25年度 文化庁芸術祭賞 テレビ・ドキュメンタリー部門 大賞
2013年 日本民間放送連盟賞 報道番組部門 優秀賞
第9回 日本放送文化大賞 準グランプリ
第21回 坂田記念 ジャーナリズム賞
第51回 ギャラクシー賞 テレビ部門 選奨
第67回 日本映画テレビ技術協会 映像技術賞
第33回 地方の時代映像祭 放送局部門 優秀賞



ふつうの公立小学校の みんなが笑顔になる挑戦
不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ



文部科学省特別選定





すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所をみつけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。

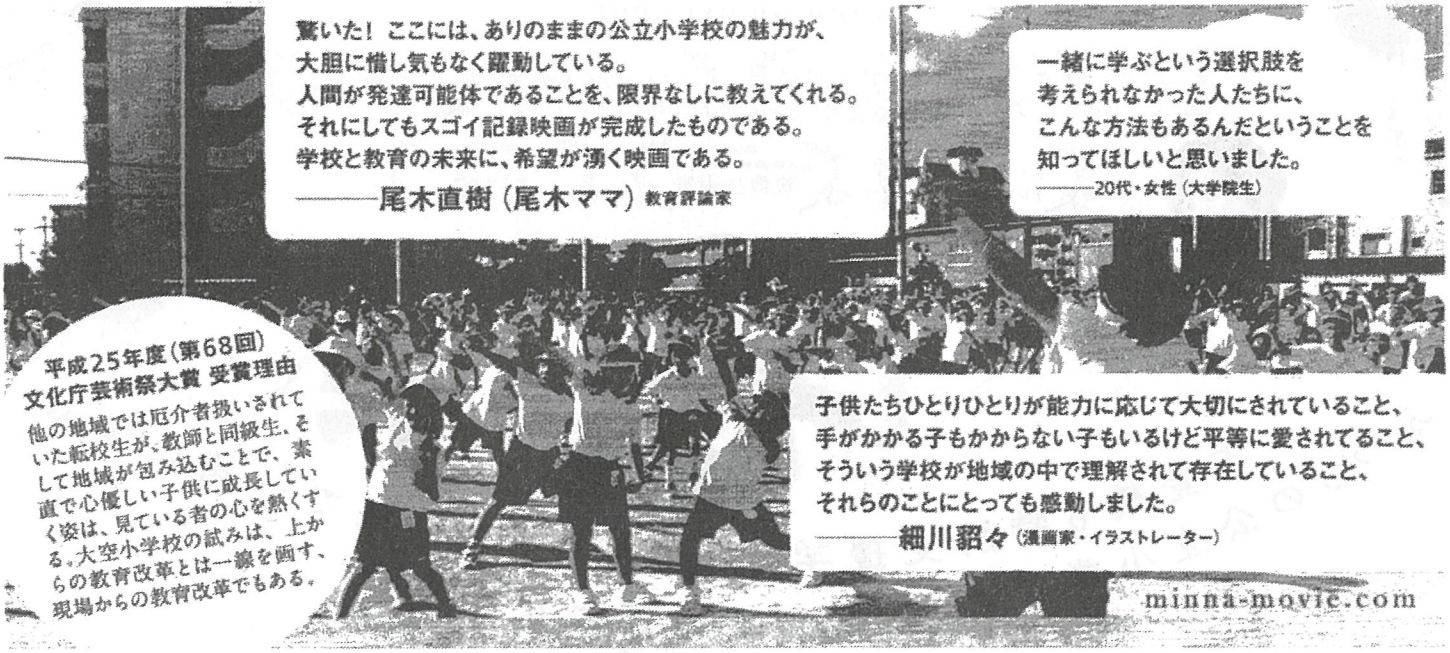


学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。



このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



入場無料

申込不要

日時：2026年10月22日（木）18:00〜20:30（受付開始17:30）

会場：分水福祉会館
新潟県燕市上諏訪10-16

対象：テーマに興味関心がある方
どなたでも

主催 こどもの居場所SAKURAぶんすい
事務局 〒955-0861 新潟県三条市北新保1-20-18
Tel&Fax 0256-34-8960
e-mail info@npo-sanjo.org